

事業所名

多機能型児童発達支援 賀川記念館くじらぐも

支援プログラム（児童発達支援）

作成日

2026年

2月

20日

法人（事業所）理念		わたしたちは、いのちが大切にされる社会をつくりだす わたしたちは、隣り人と共に生きる社会をつくりだす わたしたちは、違いを認め合える社会をつくりだす わたしたちは、自然が大切にされる社会をつくりだす わたしたちは、平和をつくりだす					
支援方針		安心安全な環境を作っていく。 日常生活における基本的動作や知識技術を習得し、集団生活に適應できるように支援する。 それぞれの子どもたちの成長や課題を見極め、遊びを通して個に合ったペースで支援していく。 少人数の集団の中で個別の対応も取り入れ、楽しく活動に取り組み「できた!」という体験を重ね、自己肯定感や自尊心を育てていく。					
営業時間		9時	0分	18時	0分	送迎実施の有無	あり
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	活動の流れに沿って、生活のリズムや基本的な生活習慣を身につけていく。 衣類の着脱、排泄などの生活に必要な基本的スキルを獲得できるようにしていく。					
	運動・感覚	体を動かす遊び（体操・ジャンプ・走る・バランスボールなど）の中で基本的な動作の向上や感覚の発達につなげていく。 工作など手先を使う活動を通して、さまざまな感覚を育てていく。 感覚過敏な子どもにも配慮した環境設定をしていき、それぞれの子どもの感覚や特性に合わせた取り組みをしていく。					
	認知・行動	ゲーム等の遊びを通して色・数字・大小・長短などの認知機能の発達を促す。 片付けや降所準備などの時間にスムーズに行動の切り替えができるように時計やタイマーを使い、時間の認識ができるようにする。 絵カードや実物での視覚的なツールを活用してスケジュールなどを伝え、活動中での動きがわかりやすいようにする。					
	言語・コミュニケーション	言葉を覚えて声に出すことで、語彙を増やしていく。 周りの人とかかわる中で、自分の思いを言葉にして伝えたり、相手の言葉を理解できるようにする。 指差し・身振り・サイン・感情の絵カードを用いて言葉以外でのコミュニケーション手段を使えるようにしていく。					
	人間関係・社会性	安心できる環境の中で周囲の人との安定した関係（信頼関係）を作っていく。 見たり遊んだりごっこ遊びを通じて社会意識を育てる。 集団に参加するための手順やルールを理解し、集団活動や遊びに参加できるようになる。 気持ちのコントロールができるようになる。 相手の行動をまねすること（模倣行動）による関係づくりをしていく。 ひとり遊びから協同遊びへとスモールステップで移行し、協同遊びなどを通して他者との関係づくりができるようになることへとつなげていく。					
家族支援		保護者と日々情報共有をし、支援内容の確認をしていく。 必要に応じて面談や電話で、ご家族の不安や心配ごとの相談援助を行う。			移行支援		保護者や各関係機関と情報交換や担当者会議を行うことなどで、包括的な支援を行えるよう環境づくりをしていく。
地域支援・地域連携		各関係機関（保育園・幼稚園・医療・福祉施設や事業所・地域団体等）と情報共有・連携していき支援目標の統一を図り、子どもが安定して目標達成に取り組めるようにする。			職員の質の向上		毎月のミーティングでの情報共有や課題整理を行い、共通認識を持つ。 定期的な研修へ参加し、知識やスキルの向上を図る。
主な行事等		誕生会・クリスマス会・避難訓練					